

令和7年度 障害者支援施設 やまやの里 地域連携推進会議 議事録

日時： 令和7年12月12日（金）9：30～12：00

会場： やまやの里 会議室

出席：利用者代表1名、利用者家族代表1名、山屋区長、浦田の里施設長、村上市担当者
やまやの里（施設長、課長、サビ管）

1、開会・挨拶

- ・施設長よりご出席の皆様にご奇譚のないご意見を頂き意見交換をさせていただきたい旨を伝え開会の挨拶を行う。

出席者全員が自己紹介を行った後、施設長より会議の目的について次の通り説明を行った。

- ・利用者地域との関係作りと地域の人への施設や利用者に関する理解の促進
- ・サービスの質の透明性・質の担保
- ・利用者の権利擁護

2、施設内の見学

- ・施設内各フロア、利用者の生活の様子を説明しながら見学していただいた。
- ・利用者の皆さんとの会話等交流の時間を設定し交流していただいた。

施設の見学後、担当職員より下記の議事について説明を行う。

3、施設について

- ・事業内容、利用者の状況、職員構成。
- ・経営状況の報告
- ・BCPについて

4、利用者の権利擁護について

- ・日常生活の様子
- ・身体拘束・虐待防止・苦情解決について
- ・利用者・保護者アンケートより
- ・利用者より

5、地域との連携について

- ・ボランティア・実習生の受け入れ
- ・防災協力員との避難訓練について
- ・自立支援協議会、社協等関係機関との連携について

次項へ

8、意見交換

- 今後介護に移行するなどして、定員に空きが出た場合に、受け入れの予定はあるか。
 - ・待機されている方もおり受け入れる。施設の構造上、性別や障害の特性等により環境が整わない場合など、相談が必要な場合はある。
- 職員にも無記名でアンケートを実施し、話を聞く機会を設け働く環境を良くしていけたら良いと思う。
 - ・職員アンケートを年1回行っている。(人権や虐待防止に関する内容)
- 水道光熱費や食材費が上がってきているが給食費等どう対応しているか。
 - ・値上がり分を施設で負担している。現在も給食委託業者とは検討中である。
- やまゆり荘との合同訓練を行っているのか。また、防災協力員とは。
 - ・合同では行っていない。
 - ・防災協力員とは、施設近隣の地区より防災協力員として推薦していただき、火災の際には協力をお願いするというシステムを構築している。緊急時施設から各区長に連絡をすることで協力依頼となる。火災の際の利用者の2時避難場所への誘導や、避難場所での見守りとして年1回避難訓練へ参加していただき、様子を見ていただいたり実際に誘導していただき、意見交換を行っている。
- 修理が必要な設備、老朽化した箇所は計画的に修理を進めて欲しい。
 - 中長期計画を掲げ、計画的に行っている。体育館暖房など費用のかかる大型設備に関しては、現在は修理の予定はない。

9、閉会の挨拶

園長より、今後も地域との交流の機会を大切に、理解の促進、連携の推進に努めていきたいと挨拶を行い、閉会となる。

以上